

安全データシート

作成: 2023年 1月31日

改訂: 2023年 4月 1日

1. 製品及び会社情報

整理番号	: KM099-02
製品名	: デュアルサイド水和剤
会社名	: クミアイ化学工業株式会社
住所	: 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	: サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	: 03-3822-5180
FAX番号	: 03-3823-6830
緊急連絡先	: 同上
推奨用途及び使用上の制限	: 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A 皮膚感作性 : 区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性) : 区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

- ・強い眼刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に製品ラベルの注意事項をよく読み使用すること。
- ・眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないように注意する。
- ・散布液や残液が直接排水溝、河川、湖沼、養魚地に流れ込まないように対処する。
- ・作物の殺菌・殺ダニ・殺虫剤の目的のみに使用する。
- ・取扱いは保護具を着用するとともに保護クリームを使用すること。
- ・使用後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。

【保管】

- ・直射日光を避け、冷暗所に密閉して保管する。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名	ポリオキシシンB 5-(2-アミノ-5- <i>O</i> -カルバモイル-2-デオキシ-L-キシロンアミド)-5-デオキシ-1-(1,2,3,4- <i>テ</i> トラヒドロ-5-ヒドロキシメチル-2,4-ジオキソピリミジニル)-β-D-アロフランソウロニックアシド
	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル プロピレングリコールモノウリン酸エステル
一般名	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル・ポリオキシシン水和剤

成分及び含有量：ポリオキシシン複合体	18.0%
プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル	40.0%
<その他> 含水非晶質シリカ	34.3%
BHT	0.2%
アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(アルキル基の炭素数が 9 から 11 までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が 1,000 未満のものに限る。)	7.5%

化学式：C ₁₇ H ₂₅ N ₅ O ₁₃	ポリオキシシン複合体
C ₁₅ H ₃₀ O ₃	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル
SiO ₂ ・nH ₂ O	含水非晶質シリカ

C₁₅H₂₄O

BHT

官報公示整理番号:化審法 (2)-772

フロピレングリコールモノ脂肪酸エステル

(1)-548

含水非晶質シリカ

(3)-540、(9)-1805

BHT

CAS No.:	19396-06-6	／	ポリオキシン複合体
	27194-74-7	／	フロピレングリコールモノ脂肪酸エステル
	112926-00-8	／	含水非晶質シリカ
	128-37-0	／	BHT
	69013-19-0	／	アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(アルキル基の炭素数が 9 から 11 までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が 1,000 未満のものに限る。)

4. 応急措置

吸入した場合:被災者を直ちに新鮮な空気の場合に移動し、衣服を緩めて深呼吸させる。汚染された衣類や保護具を取り除く。多量に吸入した場合には医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合:汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水またはぬるま湯で十分洗い流し、石けんを使って洗浄する。

眼に入った場合:直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

飲み込んだ場合:被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし、被災者に意識のない場合は、ものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器。

使ってはならない消火剤:データなし

特有の消火方法:初期の火災には、水、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護:燃焼または高温により有毒ガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着し

たり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項: 流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材: 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策: 取り扱う前には必ずラベルをよく読む。取扱いは換気のよい場所で行い、粉塵、ガスのこもりやすい場所では取り扱わない。漏れ、あふれ、飛散が無いようにし、みだりに粉塵、蒸気を発生させない。通常の手扱い方法では危険性は低いが、誤飲・誤食などのないように注意する。本剤取り扱い中に身体の異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。取扱いの際は保護眼鏡、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。取扱い後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。散布液や残液はなるべく使い切り、河川、湖沼、養魚池などに捨てない。

保管

適切な保管条件: 直射日光をさけ、低温で乾燥した場所に密封して保管する。異種物質の混入をさけ、火気、熱源から隔離する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策: 作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。

管理濃度: 設定されていない。

許容濃度: 日本産業衛生学会(2022年版)第3種粉じん 吸入性粉じん 2mg/m³
第3種粉じん 総粉じん 8mg/m³

保護具

呼吸用保護具: 防じんマスク

手の保護具 : 保護手袋(ゴム手袋)

眼の保護具 : 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具: 作業衣、帽子、保護服、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 類白色水和性粉末
臭い	: データなし
pH	: 3.5
融点/凝固点	: データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃範囲	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子性状	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 常温・常圧で安定
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット(♀) LD ₅₀ >2,000mg/kg [区分に該当しない]
急性毒性(吸入:粉じん)	: データなし。 [分類できない]
急性毒性(経皮)	: ラット(♂♀) LD ₅₀ >2,000mg/kg [区分に該当しない]
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ: 刺激性なし。 [区分に該当しない]
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ウサギ: 中等度の刺激性(洗眼効果あり) [区分2A]
呼吸器感作性／皮膚感作性	
呼吸器感作性	: データなし。 [分類できない]
皮膚感作性	: モルモット 感作性あり[区分1]
生殖細胞変異原性	: データなし。 [分類できない]
発がん性	: データなし。 [分類できない]
生殖毒性	: データなし。 [分類できない]

特定標的臓器毒性(単回ばく露) :データなし。[分類できない]
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) :データなし。[分類できない]
 誤えん有害性 :データなし。[分類できない]

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性):藻類のデータに基づき区分2とした。

魚類	:コイ	LC ₅₀	96h	27.7mg/L	[区分3]
甲殻類	:オオミジンコ	EC ₅₀	48h	1.86mg/L	[区分2]
藻類	:藻類	ErC ₅₀	0-72h	4.74mg/L	[区分2]
残留性・分解性	:データなし				
生体蓄積性	:データなし				
土壌中の移動性	:データなし				
オゾン層への有害性	:データなし				
その他	:水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。				

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。
 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。
 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。車輦、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類	:非該当
国連番号	:非該当
国内規制	
海上規制情報	:船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	:航空法の規定に従う。
陸上規制情報	:道路法の規定に従う。

15. 適用法令

農薬取締法 :登録番号 第23163号 (科研製薬株)

消防法	: 非危険物
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: アルファーアルキル—オメガ—ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(アルキル基の炭素数が9から11までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が1,000未満のものに限る。)(1種580)
毒物劇物取締法	: 非該当

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件2,000円)は弊社が負担いたします。